

プレスリリース（2022年4月25日）

オートリブ、日本での生産体制を強化すべく中部地区に新事業所開設

オートリブ株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：コリン・ノックトン）は、日本における生産拠点・開発拠点の最適化と生産能力を増強するために、中部地域の新たな拠点として愛知県知多市に新しい事業所を開設いたします。2023年第3四半期中の稼働開始を予定しております。

当社は日本で事業を開始して以来約35年もの間、当社のビジョン「Saving More Lives（より多くの命を守る）」のもと、日本の自動車メーカーに向けてエアバッグ、シートベルト、ステアリングホイール（ハンドル）などの自動車安全部品の開発、生産、販売を行い、自動車メーカーのビジネスパートナーとなるべく関係を築いてきました。自動車を含めたモビリティ業界の大きな変化の中、日本のお客様との連携をより強固なものにすべく、お客様の拠点に沿って当社拠点の再編を行い、東日本・西日本・中部というそれぞれの地域におけるお客様サービスの拡充を図ります。

尚、新事業所の開設に合わせて、厚木事業所は2023年末に、愛知事業所は2024年4月に閉鎖予定です。

【新事業所外観イメージ】



1. 新事業所概要

所在地	愛知県知多市北浜町11
敷地面積	53,000㎡（当社筑波事業所の約1.3倍）
生産品目	エアバッグ、ステアリングホイール（ハンドル）
建物概要	工場棟および事務所棟（2階建て） 生産エリア：約4,300㎡、倉庫エリア：約9,300㎡
工期	着工予定：2022年7月、竣工予定：2023年7月
工場稼働予定	2023年第3四半期中

2. 新事業所のコンセプト

インダストリー4.0の考え方に基づくオートメーション化を取り入れ、当社の高いものづくり力を実現した事業所を目指しています。またサステナビリティの観点から、当社の長期的な気候変動目標に基づき100%再生可能エネルギーを利用した事業所になります。従業員の働きやすい環境づくりのために、食堂やグリーンエリア等の施設を充実させるとともに、仕事内容に合わせて最適な環境を選ぶABW (Activity Based Working) を導入いたします。

3. 生産拠点・開発拠点の体制について

	現在	中部地域新事業所立ち上げ後
生産拠点	筑波事業所、厚木事業所、 愛知事業所、広島事業所	筑波事業所、広島事業所、 中部地域新事業所
開発拠点	筑波事業所、 ジャパンテクニカルセンターつくば、 厚木事業所、横浜営業所	筑波事業所、 ジャパンテクニカルセンターつくば 横浜営業所

【関連プレスリリース】(2021年11月12日配信)

https://www.autoliv.jp/common/pdf/press_release_2021_11_12.pdf

以 上

【本リリースに関するお問い合わせ先】

オートリブ株式会社 人事本部 採用・ブランディング室 六車 (むぐるま)

E-mail : AJP-Comteam@autoliv.com

オートリブ グローバルについて

Autoliv, Inc. は、自動車安全システムをグローバル規模で提供するリーディングカンパニーです。当社は子会社を通して、世界中の主要自動車メーカー向けに、エアバッグ、シートベルト、ステアリングホイール (ハンドル) などの安全保護システムを開発、製造および販売しているほか、歩行者保護、二輪車のライダー向けのコネクティッドセイフティサービスや安全ソリューションも開発しています。オートリブでは、継続して先進的なソリューションを提供するために、モビリティセイフティのスタンダードに挑戦し、再定義しています。

27カ国に広がる60,000人以上の従業員は、「Saving More Lives (より多くの命を守る)」という当社のビジョンに真摯に取り組んでおり、どんな業務においても品質を最も重視しています。14カ所にテクニカルセンターを配置し、20の衝突試験装置を保有しています。2021年度の売上高は、82億米ドルです。株式をニューヨーク証券取引所 (NYSE: ALV) に、スウェーデン預託証券をナスダック・ストックホルム (ALIV sdb) に上場しています。

さらに詳しい情報は、以下を参照してください。

www.autoliv.com オートリブグローバルサイト (英語)